

第3回栗東市地方創生懇談会 主な意見（会議後の意見）

（1）栗東市人口ビジョン・総合戦略策定のための市民アンケート調査結果について

主な意見

- 配布数2,000人中、回答数823人（内、栗東に住み続けたいは461人）であった。これは、本市に対する期待度や関心度は1,539人が希薄であり、データ数を確保することが目的ではなく、回答数が少ないことが課題であると認識してもらいたい。

（2）栗東市総合戦略骨子（案）について

主な意見

- 市民と行政が真摯に自分達の大切な市、地域社会を構築する意識を持つことが必要である。市民のために、次の取り組み早期に行うことが必要である。
 - ①安心・安全
 - 住み良い町づくり 住環境の計画的土地利用、交通・道路網の整備
 - 地産地消地域農業の育成
高齢化、後継者不足、耕作放棄地対策のため、第三セクターを設立し、営農組合や農家を1本に組織化（法人でも）
 - ②子育て支援（児童館やコミュニティセンターの空き時間を活用）
 - 赤ちゃん和妈妈のすこやかサロン
児童館の休館日を利用して短時間の託児所を開設し、母親のストレス解消、再就労に向けた学習時間（就職活動の確保など）
 - 不登校、引きこもり、発達障がいなどの児童への、心のケア、学力支援、サポート
 - 学童保育以外の子どもの居場所づくり（地域ボランティアがサポート）
郷土を愛し、根気・忍耐力・努力等を身につけ、地域で生き抜く子どもを育成
 - ③教育
 - 全国学力・学習状況調査結果の指導検証
他市は附属校・中高一貫校・高レベルの塾などの学力向上の取り組みを実施されており、本市でも上位となるよう努力する。
 - ④地域産業支援
 - 起業・キャリアの育成支援
市が空家・空室・空き店舗を借り上げて安く提供し、起業者の費用負担を軽減
 - 技能習得教育の推進（母親の就労機会をサポート）
 - ⑤地域文化・芸能の伝承
 - 栗東八景・神社・寺院・史跡・こんぜの里等の名所めぐり
つながりの希薄化、核家族化の解消するため、施設見学などを旅行会社と連携実施し、地域における観光意識を高める。関連商品、特産物の開発・販売、ボランティアの育成。
 - ⑥高齢者対策
 - 体育推進員、健康推進員の出前健康サロンの内容の充実と定期化
買物難民、交通弱者、介護離職、介護難民、ダブル介護の解消
 - 健康指導、検診、体操受講した人に介護ポイント付加（介護サービスに利用）
 - 定年退職者への生き甲斐サロン（仲間づくり、地域おこし）
健康で活力のある人材発掘・活用（シルバー人材センター）
- 広報・ホームページに掲載するだけでなく、情報難民・生活弱者のもとへ足を運び、顔や目を見て声を聞くことにより、市民が真に何を求めているか、次世代に負担をかけず、責任の持てる確固たる意識を持って、市政に取り組んでももらいたい。